



2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年10月24日

株式会社 セゾン情報システムズ

第1部 2015年3月期第2四半期決算概況、および 2015年3月期業績予想について

取締役 経営企画室長
赤木 修

第2部 2015年3月期上期概況と今後について

代表取締役社長
宮野 隆

2015年3月期第2四半期決算概況 2015年3月期業績予想



連結業績 ハイライト

売上高

15,363百万円

(前期比4.9%減)

- ・ 金融システム事業において既存顧客向けシステム開発が減少
- ・ HULFT事業においてHULFT製品及びその関連製品の販売が堅調に推移
- ・ 流通サービスシステム事業において新規顧客向けシステム開発が増加

営業利益

1,290百万円

(前期比27.7%増)

- ・ HULFT事業において収益性の高い製品販売及び保守販売が堅調に推移したことによる利益増加
- ・ 金融システム事業において大型システム開発案件での障害対応及び品質改善コストが増加したことによる利益減少

四半期純利益

812百万円

(前期比39.9%増)

- ・ 上記営業利益の増加等に伴い純利益も増加

※15/03期より売上計上基準を変更しており、前期実績については遡及処理後の数値を記載

連 結 (単位：百万円)	2015年 3月期 第2四半期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
売上高	15,363	16,150	▲ 787	▲4.9%
売上総利益	3,627	3,214	412	+12.8%
売上総利益率	23.6%	19.9%	+3.7P	－
営業利益	1,290	1,010	280	+27.7%
営業利益率	8.4%	6.3%	+2.1P	－
経常利益	1,321	1,042	279	+26.8%
四半期純利益	812	580	231	+39.9%

連結業績 業績予想との差異

連 結 (単位：百万円)	2015年 3月期 第2四半期	業績予想との比較		
		業績予想	増減額	増減率
売上高	15,363	14,700	663	+4.5%
営業利益	1,290	1,250	40	+3.2%
営業利益率	8.4%	9.3%	▲0.9P	－
経常利益	1,321	1,265	56	+4.4%
四半期純利益	812	770	42	+5.5%

事業セグメント別 連結売上高

※15/03期より売上計上基準を変更しており、前期実績については遡及処理後の数値を記載

※従来その他に含めていた世存信息技术（上海）有限公司をHULFT事業の報告セグメントに含めて記載

※14/03期から株式会社アプレッソの売上高をHULFT事業セグメントに含めて記載

連 結 (単位：百万円)	2015年3月期 第2四半期		前期との比較			
	実績	構成比	前期実績	構成比	増減額	増減率
金融システム事業	8,071	52.5%	9,106	56.4%	▲ 1,035	▲11.4%
流通Sシステム事業	2,150	14.0%	2,180	13.5%	▲ 30	▲1.4%
BPO事業	850	5.5%	866	5.4%	▲ 16	▲1.8%
HULFT事業	3,370	21.9%	3,196	19.8%	174	+5.4%
その他	920	6.0%	801	5.0%	119	+14.9%
合計	15,363	100.0%	16,150	100.0%	▲ 787	▲4.9%

主要顧客別 連結売上高

連 結 (単位：百万円)		2015年3月期 第2四半期		前期との比較			
		実績	構成比	前期実績	構成比	増減額	増減率
(株)クレディセゾン		5,038	32.8%	5,689	35.2%	▲ 651	▲11.4%
(株)キュービタス		1,822	11.9%	2,530	15.7%	▲ 708	▲28.0%
日本アイ・ビー・エム(株)		655	4.3%	292	1.8%	363	+124.3%
(株)NTTデータ		430	2.8%	444	2.7%	▲ 14	▲3.2%
(株)西友		310	2.0%	417	2.6%	▲ 107	▲25.7%
主要顧客売上高計		8,257	53.7%	9,374	58.0%	▲ 1,117	▲11.9%
売上高		15,363	100.0%	16,150	100.0%	▲ 787	▲4.9%

連結貸借対照表

※15/03期より売上計上基準を変更しており、前期末実績については遡及処理後の数値を記載

連 結 (単位：百万円)		2015年 3月期 第2四半期	前期末との比較		
			前期末実績	増減額	増減率
	流動資産	16,069	16,149	▲ 79	▲0.5%
	固定資産	10,253	10,446	▲ 192	▲1.8%
	資産合計	26,323	26,595	▲ 272	▲1.0%
	流動負債	7,031	7,540	▲ 509	▲6.8%
	固定負債	2,328	2,472	▲ 144	▲5.8%
	負債合計	9,359	10,013	▲ 653	▲6.5%
	純資産合計	16,963	16,582	381	+2.3%
	負債純資産合計	26,323	26,595	▲ 272	▲1.0%
【主な増減要因】					
流動負債：未払法人税等▲682					
純資産：利益剰余金＋294					

連結受注実績

連 結 (単位：百万円)	受注高			受注残高		
	2015年 3月期 第2四半期	前期との比較		2015年 3月期 第2四半期	前期との比較	
		前期実績	増減率		前期実績	増減率
金融システム事業	8,200	9,736	▲15.8%	7,462	10,299	▲27.5%
流通Sシステム事業	2,400	2,103	+14.1%	3,907	3,600	+8.5%
BPO事業	1,303	1,013	+28.6%	1,705	1,934	▲11.8%
HULFT事業	3,801	3,585	+6.0%	2,746	2,496	+10.0%
その他	1,030	673	+53.0%	988	814	+21.4%
合計	16,736	17,110	▲2.2%	16,809	19,143	▲12.2%

2015年3月期 連結業績予想

※15/03期より売上計上基準を変更しており、前期実績について遡及処理後の数値を記載

連 結 (単位：百万円)	2015年 3月期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
売上高	31,700	32,500	▲ 800	▲ 2.5%
営業利益	3,300	3,335	▲ 35	▲ 1.0%
営業利益率	10.4%	10.3%	+0.1P	－
経常利益	3,310	3,350	▲ 40	▲ 1.2%
当期純利益	2,050	1,863	187	+10.0%

※ 平成26年10月23日付「平成27年3月期 第2四半期決算短信」に記載のとおり、第3四半期以降に大型システム開発案件に関する品質改善及び機能向上等に取り組む予定であり、当該プロジェクトの進捗等によっては当社グループの業績に少なからず影響を与える可能性があります。その影響については現在精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに情報開示いたします。

事業セグメント別 連結売上高予想

※15/03期より売上計上基準を変更しており、前期について遡及処理後の数値を記載

※従来その他に含めていた世存信息技术（上海）有限公司をHULFT事業の報告セグメントに含めて記載

※14/03期から株式会社アプレzzoの売上高をHULFT事業セグメントに含めて記載

連 結 (単位：百万円)	2015年3月期		前期との比較			
	通期予想	構成比	前期実績	構成比	増減額	増減率
金融システム事業	16,000	50.5%	17,708	54.5%	▲ 1,708	▲9.6%
流通Sシステム事業	5,000	15.8%	4,563	14.0%	437	+9.6%
BPO事業	1,830	5.8%	1,928	5.9%	▲ 98	▲5.1%
HULFT事業	6,830	21.5%	6,594	20.3%	236	+3.6%
その他	2,040	6.4%	1,706	5.2%	334	+19.6%
合計	31,700	100.0%	32,500	100.0%	▲ 800	▲2.5%

連結業績進捗と配当予想

連 結 (単位：百万円)	2015年3月期		
	通期 予想	第2四半期 実績	進捗率
売上高	31,700	15,363	48.5%
営業利益	3,300	1,290	39.1%
経常利益	3,310	1,321	39.9%
当期純利益	2,050	812	39.6%

基準日	1株当たり配当予想		
	第2四半期末	期末	年間
2015年3月期予想	10円	25円	35円
2014年3月期実績	10円	25円	35円

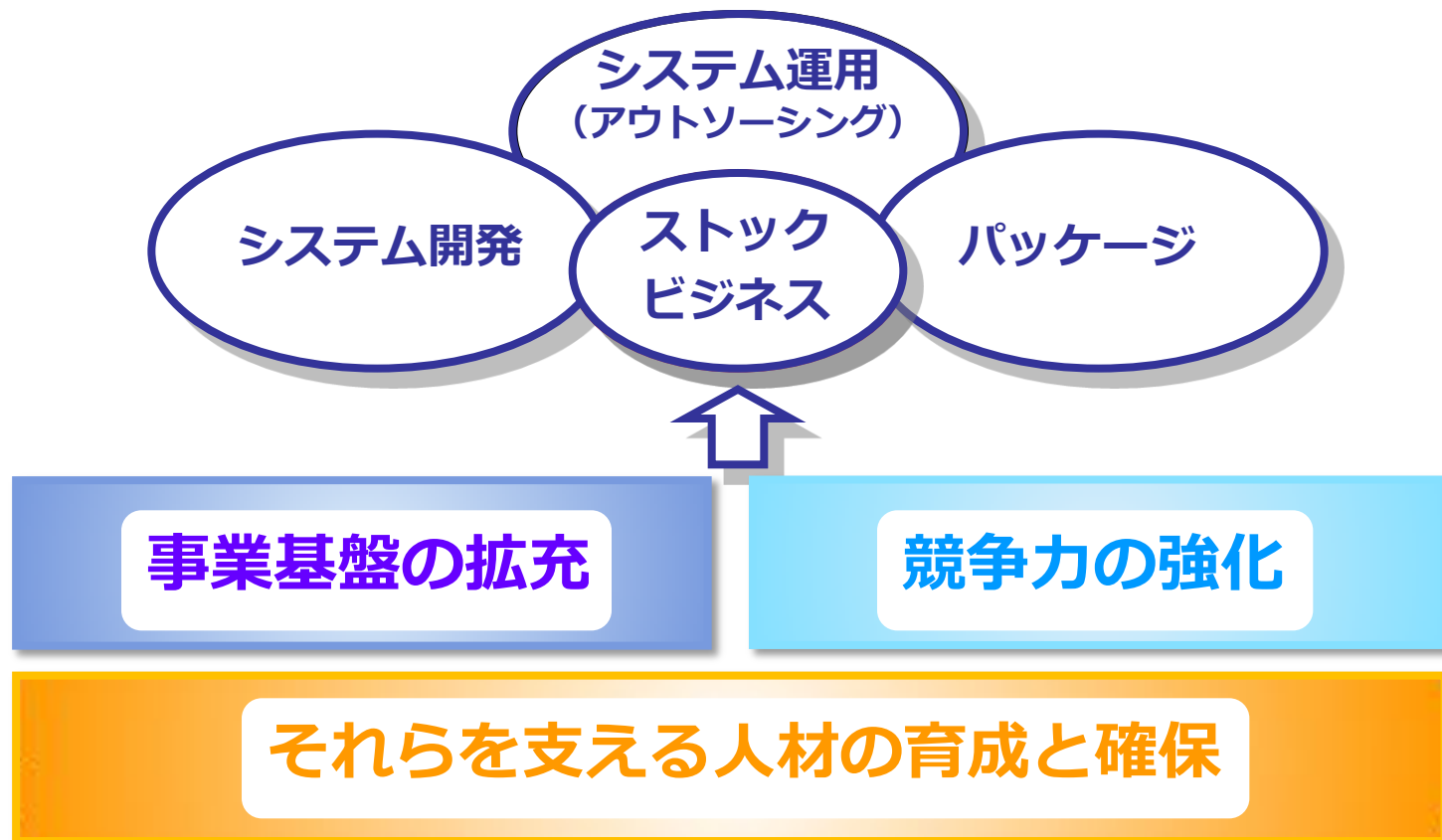
2015年3月期上期概況と 今後について



布石を成果に ～成長は挑戦の先に～

これまで取り組んできた施策を成果として花開かせ、
これからの成長に向け更なる布石を打つことで、
継続的に成長できる企業となるべく、
これまで以上に挑戦していく

これまでの布石を確実に成果にし、
これからの成長に向け更なる布石を打つ



事業基盤の拡充

- ・ 顧客基盤の拡充
- ・ スtockビジネスの拡大
- ・ 新規事業/ビジネス/商品・サービスへの取り組み

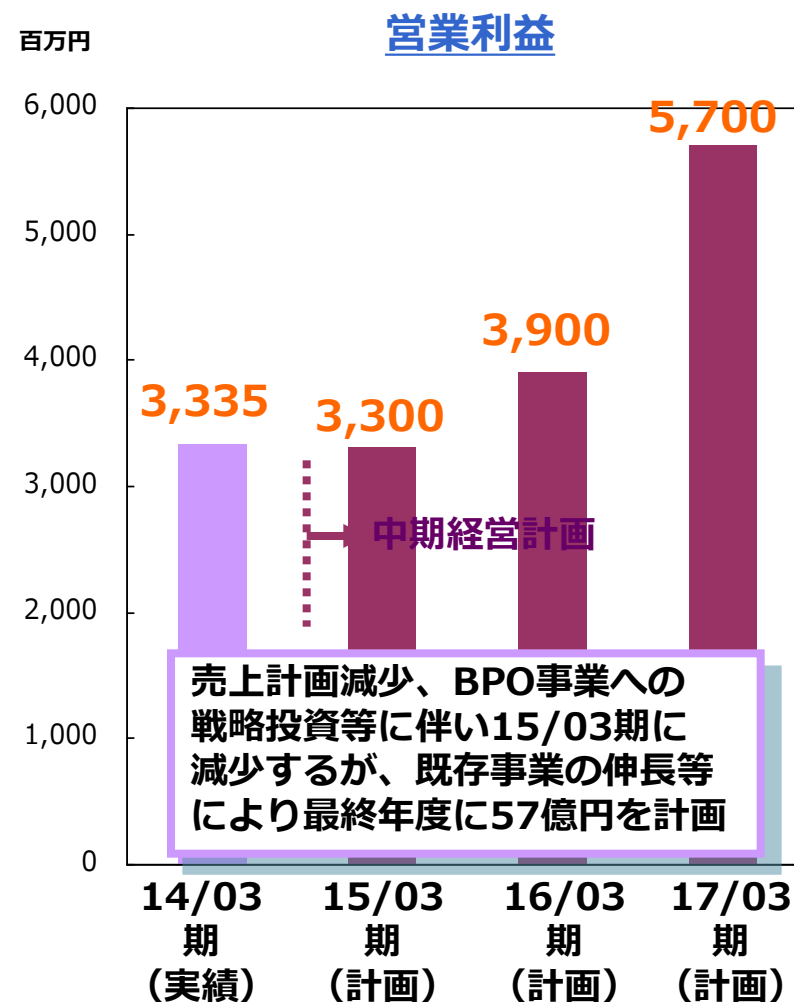
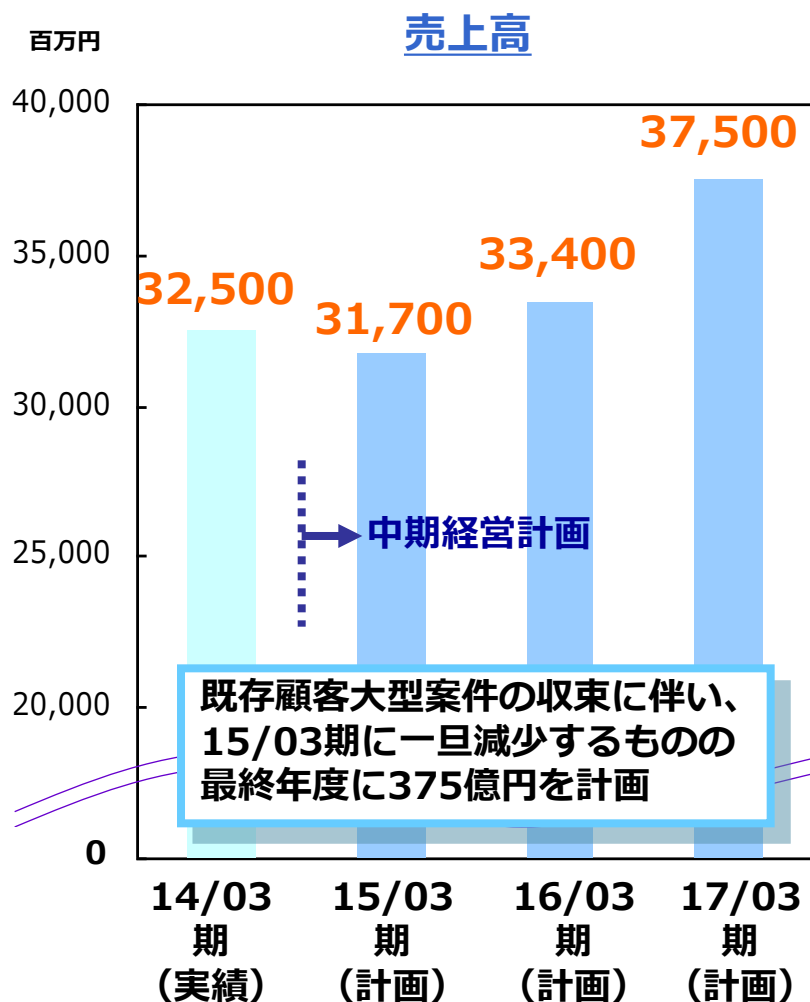
競争力の強化

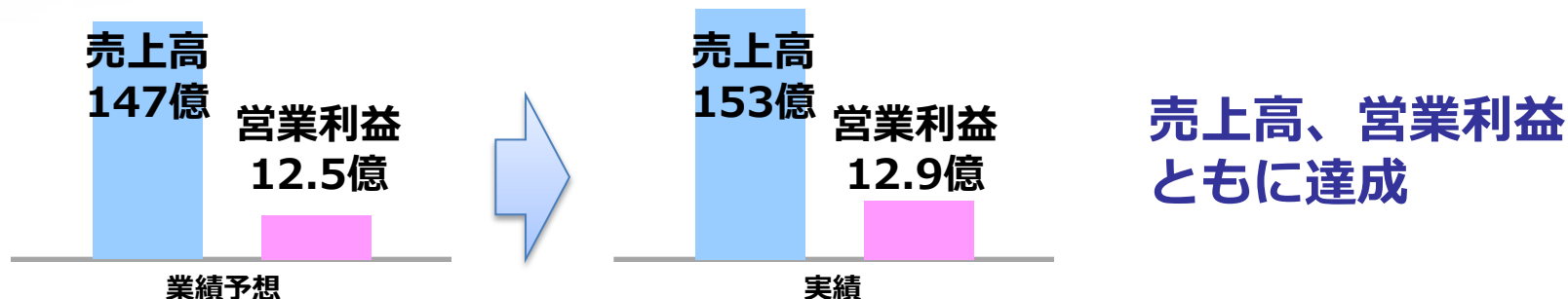
- ・ リリースした商品・サービスの市場価値向上
- ・ 業務の生産性向上/品質向上

それらを支える 人材の育成と確保

- ・ 常に成長意欲の高い人材、挑戦する人材の創出

中期計数計画





事業基盤の拡充

- ☆ SAISOS等による着実なストックビジネスの拡大
- ☆ 東南アジアマーケットへの進出準備
- ☆ 新製品「STORESクラウド」の開発に着手
- ★ 既存顧客大型開発案件における開発遅延

競争力の強化

- ☆ アプレッソ社とのシナジー、中国展開が堅調
- ☆ 「HULFT 8」2014/12/8リリース予定
- ★ 次期「Bulas」開発遅延によるリリース延期

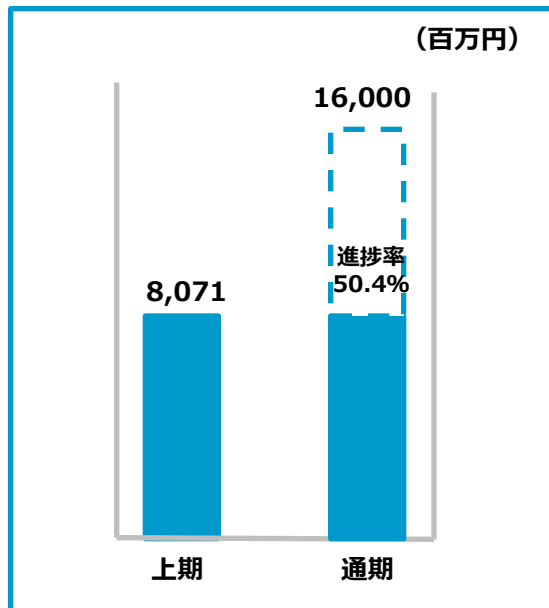
それらを支える 人材の育成と確保

- ☆ 採用手法の変更等により経験者採用の獲得が順調に推移（年間目標49人/実績32人）

金融システム事業における下期重点施策

開発が遅延している既存顧客大型開発案件の立て直しと確実な完遂に向けた対応に注力する

売上高



下期のポイント

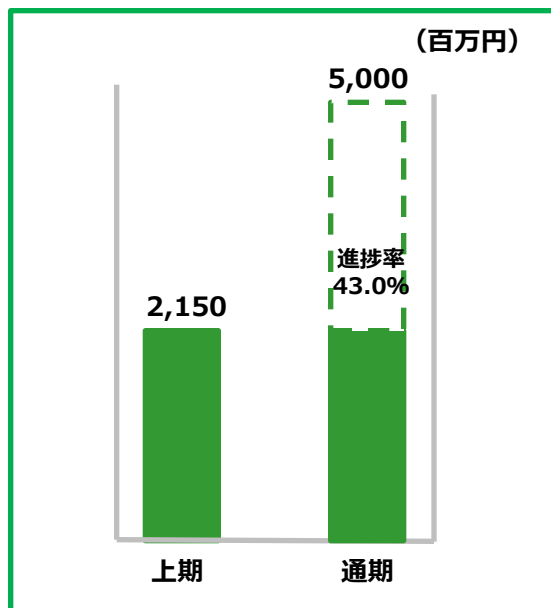
- ◆ 既存顧客大型開発案件の対応
当社担当部分において完成遅延が発生し、プロジェクトの立て直しが急務
→ 開発の仕切り直し・強化を図るため
体制の変更・強化を実施
→ プロジェクト完遂に向けた対応に注力
- ◆ 新規顧客、新規案件開拓の推進
→ ハードウェア延長保守サービスの販売を推進

※SAISOS（サイソス）：当社で提供している、クラウド型ホスティングサービス

※ハードウェア延長保守サービス：メーカーによる保守を受けられなくなったハードウェアを、メーカーに代わり延長して保守をするサービス

獲得した新規開発案件のプロジェクトマネジメント強化と
更なる新規顧客案件の創出を図る

売上高



下期のポイント

- ◆プロジェクトマネジメントの強化
→開発案件の着実なクロージング
- ◆更なる新規顧客獲得と案件の創出
→新製品「STORESクラウド」の開発
→大型案件の獲得
- ◆技術力を高め、生産性/品質の向上を図る
→GeneXusを用いた短納期/高品質の開発推進

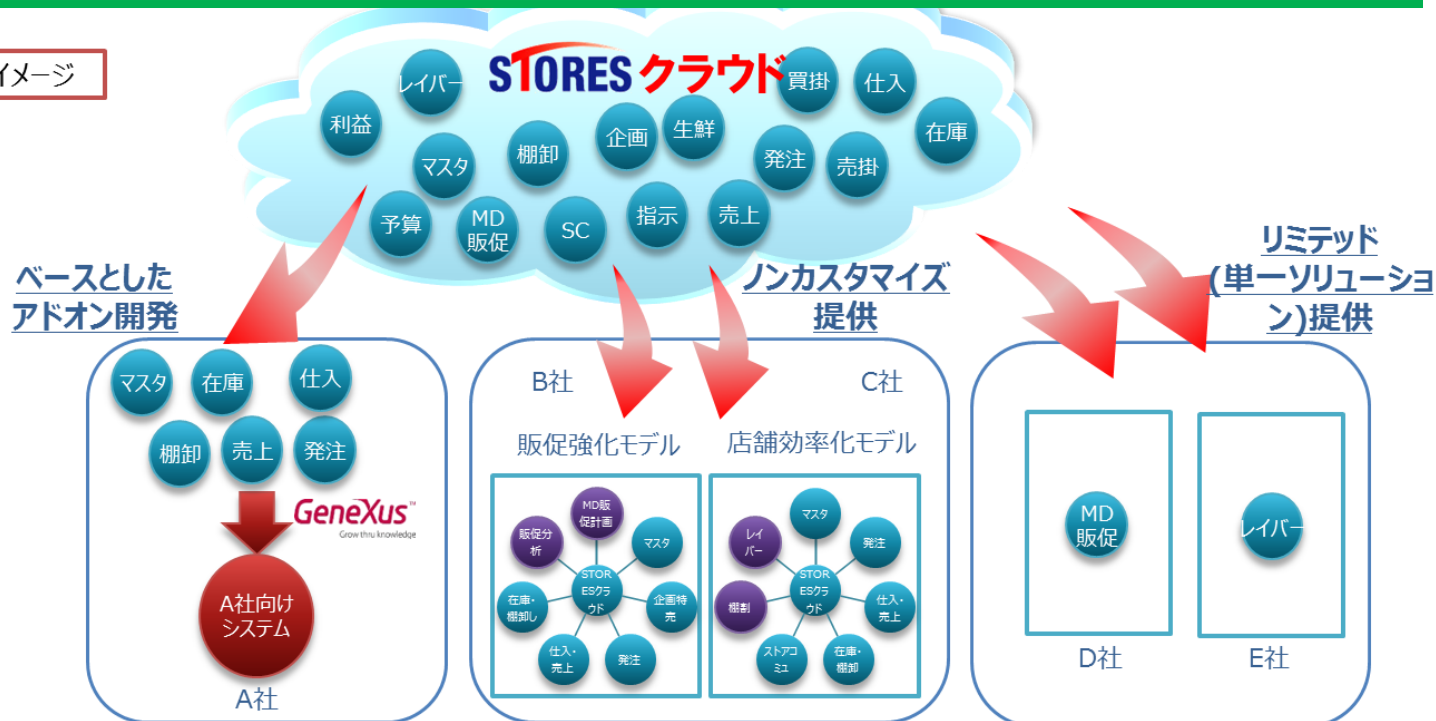
※STORES（ストアーズ）：当社で提供している、流通小売チェーン向けの統合ソリューションサービス

※GeneXus（ジェネクス）：業務要件を入力することにより、業務システム（プログラム・データベース）を自動生成する開発ツール

流通Sシステム事業における下期重点施策

【STORESクラウドとは】
流通小売業が必要とするソリューションを取り揃え、必要なときに必要な機能を利用できるクラウドサービス

販売モデルイメージ

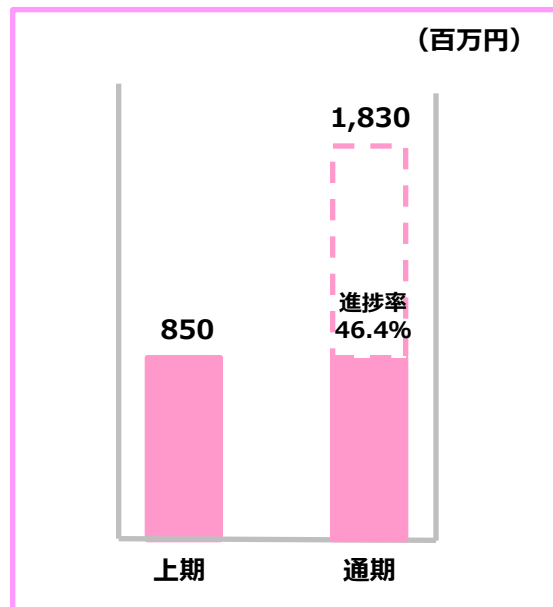


	大規模	中規模	小規模
販売モデル	<アドオンベース> STORESクラウドをベースとしたGeneXusによるアドオン開発	<ノンカスタマイズベース> 顧客ニーズに合わせたテンプレート提供により、原則ノンカスタマイズでソリューション提供	<リミテッドベース> STORESクラウドのソリューションを単一製品として提供

BPO事業における下期重点施策

次期「Bulas」を開発・リリースするとともに、収益の改善に向けた生産性向上施策に取り組む

売上高



下期のポイント

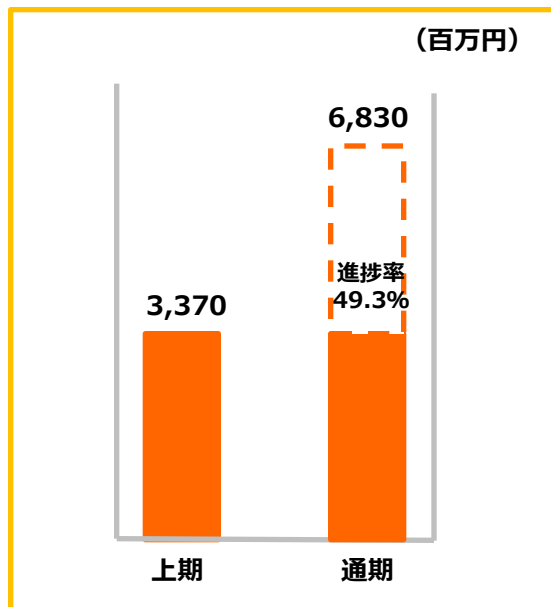
- ◆次期「Bulas」サービスの開始
→2014/09でのリリース計画を見直し、
2015/01に第1次リリース予定
→その後の顧客移行、新規案件の獲得
- ◆利益率改善に向けた取り組みを推進
→給与計算サービスにおける生産性向上
活動の継続

※Bulas（ビューラス）：当社で提供している、給与計算や勤怠管理のサービス

HULFT事業における下期重点施策

新製品「HULFT8」のリリースによる売上拡大と同時に新たなマーケット進出を目指した動きを強化する

売上高



下期のポイント

- ◆新製品「HULFT8」の投入
→2014/12/8にリリース予定
- ◆アプレッソ社とのシナジー効果拡大
→共同開発の推進、販売体制統合による
売上の更なる拡大
- ◆グローバル展開の推進拡大
→中国マーケットにおける販売拡大と
東南アジアマーケットへの進出準備

※HULFT（ハルフト）：当社で提供している、ファイル転送パッケージ製品

HULFT事業における下期重点施策

これまでのHULFT

ファイル転送市場No.1

安全/確実/信頼
レガシーシステム連携

オンプレミス環境
国内

データ連携ツールを自前で開発

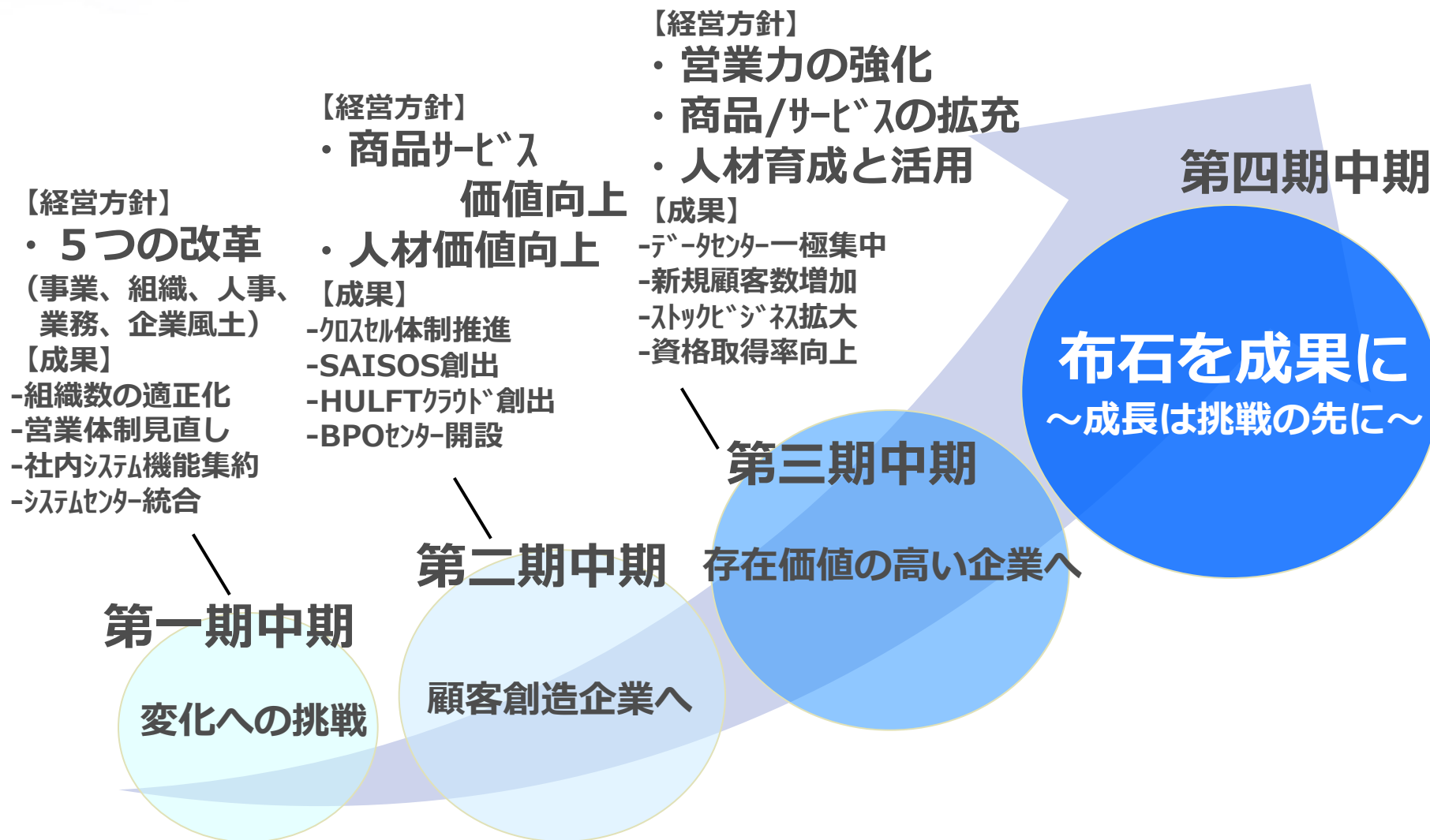
これからのHULFT

様々なシステム、クラウド、
データ、ビジネスをつなげる
「システム連携No.1」

安全/確実/信頼（大前提）
開いた、解放された、自由な
オープンシステム連携
クラウド環境
海外(グローバル)

データ連携分野
アプレッソ社とのシナジーで
データ連携市場奪取へ

継続的な成長を目指して



<免責条項>

本資料は、決算の状況および今後の経営方針、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本説明会および資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、その実現・達成を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。